



火災予防かわら版

これからの時期は、電気ストーブや電気こたつによる火災が多く発生する時期です。

事象事例を見ると、電気暖房器には裸火がないため火災は発生しにくいだろうという油断や誤解があり、電気ストーブや電気こたつで洗濯物を乾燥させたり、ヒーターに布団や座布団が接触したりして、火災が発生していました。

電気ストーブや電気こたつの使用にあたっては、火災につながる危険性の高い、次のような点に注意しましょう。

電気ストーブ

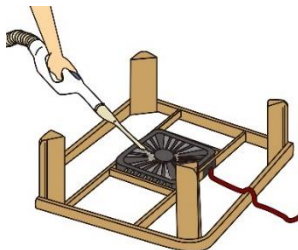


就寝時、外出時やその場を離れる時は電源を切り電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

電気ストーブ・こたつ



電気こたつ



お手入れをして、ほこりやごみが付着したまま使用しないようにしましょう。

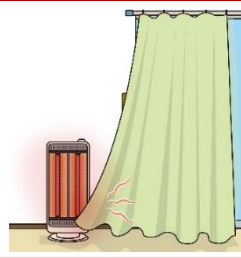
電気ストーブ



スプレー缶やライター等を近くに置かないようにしましょう。

出火防止のための アドバイス

電気ストーブ



壁や燃えやすいものから離して使用しましょう。

電気ストーブ



洗濯物の乾燥等には使用しないようにしましょう。

電気こたつ



電気こたつ



布団や座布団、座椅子をこたつの中に押し込まないようにしましょう。



住宅防火

いのちを守る 十のポイント

四つの習慣

3 **使**

用中は、
その場を
離れない。

1 **寝**

たばこは絶対
しない、
させない。

4 **清**

掃をして、
不要なプラグは
抜く。

2 **燃**

えやすい
ものを
置かない。



5 **避**

難経路と
方法を
確認する。

3 **防**

炎品を
使用する。

防災

1 **安**

全装置の付いた
機器を使用する。

六つの対策

6 **地**

域ぐるみの
防火対策を
行う。

4 **住**

宅用消火器を
設置し、使い方
を確認する。

2 **定**

定期的に点検し、
十年を目安に
交換する。

